
第2期

海老名市子ども・子育て支援事業計画

中間見直し

令和5年1月

海老名市

目 次

1	中間見直しにあたって	1
2	中間見直しに向けた考え方	1
3	中間見直しを行う事業	2
	（1）量の見込みと確保方策に関わる支援事業	2
	（2）計画を推進するための各種支援事業	3
4	（中間見直し）量の見込みと確保方策に関わる支援事業	4
5	（中間見直し）計画を推進するための各種支援事業	16
6	（中間見直し後）量の見込みと確保方策に関わる支援事業	28
7	（中間見直し後）計画を推進するための各種支援事業	33

1 中間見直しにあたって

「第2期海老名市子ども・子育て支援事業計画」（以下「計画」）は、次世代育成支援対策推進法に基づく「市町村行動計画」として、また、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」として位置づけられています。

令和2年3月に、令和2年度から令和6年度までの5か年を計画期間として策定し、「はぐはぐ EBINA EBINA えびな宣言のもと 子どもの笑顔が輝く 魅力あふれるまち えびな」を基本理念に各種施策を推進しています。計画策定以降、市の情勢や地域を取り巻く環境の変化に対応した見直しを行う必要が生じています。また、国が示す基本指針(以下「基本指針」)においても、「計画に記載した量の見込みと確保方策が実績と乖離する場合は中間年度である令和4年度を目安に必要な応じた見直しを行うこと」とされています。

市では、計画のより一層の推進を図るため、基本指針に基づき、量の見込みと確保方策の中間見直しを実施するとともに、計画を推進するための各種支援事業についても、利用実績やニーズを踏まえた修正を行いました。

2 中間見直しに向けた考え方

量の見込みと確保方策に関わる支援事業については、基本指針に基づき、令和4年度から6年度までの「量の見込み」と「確保方策」の数値がこれまでの実績値と乖離（差±10%以上）している事業を見直しの対象としました。

また、計画を推進するための各種支援事業についても、令和3年度の事業実施状況報告において担当課評価が「C評価」（想定基準を達したとは言い難い）の事業を見直しの基準としました。「量の見込み」と「確保方策」に連動した事業や、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業等についても見直しの対象としました。いずれも、必要な見直しとし、今後の市の情勢や環境の変化等を見据えたものとなっています。

進捗管理	計画の期間（5か年）				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
管理・運営			中間見直し		
	海老名市子ども・子育て会議				

3 中間見直しを行う事業

(1) 量の見込みと確保方策に関わる支援事業

計画に掲載している 12 事業のうち、以下の 7 事業について見直しを行いました。

また、No.5「子育て短期支援事業（ショートステイ）」について、所管課を保育・幼稚園課から子育て相談課に変更しました。

中間見直し事業

No.	対象事業	事業所管課	計画掲載ページ
教育・保育施設			
1	①保育施設（3号認定0歳児）	保育・幼稚園課	48
	②保育施設（3号認定1・2歳児）		
	③教育施設（1号認定3～5歳児（就学前））		
	⑤保育施設（2号認定3～5歳児（就学前））		
地域子ども・子育て支援事業			
2	時間外保育事業（延長保育）	保育・幼稚園課	49
3	病児・病後児保育事業		49
4	一時預かり事業 ②保育所における一時預かり事業		49
7	放課後児童健全育成事業（学童保育）	学び支援課	50
11	妊婦健康診査事業	こども育成課	52
12	乳児家庭全戸訪問事業		52

所管課変更事業（保育・幼稚園課から変更）

No.	対象事業	事業所管課	計画掲載ページ
地域子ども・子育て支援事業			
5	子育て短期支援事業（ショートステイ）	子育て相談課	49

(2) 計画を推進するための各種支援事業

令和3年度の事業実施状況報告において、担当課評価が「C評価」(想定基準を達したとは言い難い)の事業を見直しの基準としました。その他、「量の見込み」と「確保方策」に連動した事業や、新型コロナウイルス感染症等の影響があった事業なども勘案した結果、計画に掲載している69事業のうち以下の23事業について見直しを行いました。また、No.13「子育て短期支援事業」について、所管課を保育・幼稚園課から子育て相談課に変更しました。

中間見直し事業

No.	対象事業	事業所管課	令和3年度 担当課評価	計画掲載 ページ
1	幼稚園充実事業	保育・幼稚園課	B	13
2	保育所充実事業	保育・幼稚園課	A	13
3	認定こども園充実事業	保育・幼稚園課	B	14
4	小規模保育事業	保育・幼稚園課	A	14
5	家庭的保育事業	保育・幼稚園課	C	14
6	居宅訪問型保育事業	保育・幼稚園課	C	14
7	事業所内保育事業	保育・幼稚園課	C	15
9	病児保育	保育・幼稚園課	A	16
10	病後児保育	保育・幼稚園課	B	16
11	一時預かり事業	保育・幼稚園課	B	16
12	延長保育事業	保育・幼稚園課	B	17
14	多様な主体が本制度に参入することを 促進するための事業	保育・幼稚園課	B	17
16	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	学び支援課	B	18
19	妊婦健康診査	こども育成課	A	21
23	特定不妊治療費助成事業	こども育成課	A	22
27	育児相談	子育て相談課	C	24
31	離乳食講座	子育て相談課	C	25
32	むし歯予防教室	子育て相談課	C	25
37	ファミリー・サポート・センター事業	子育て相談課	C	28
39	紙オムツ支給事業	こども育成課	A	29
42	子育て支援センター	子育て相談課	C	30
43	地域版子育て支援センター	子育て相談課	C	30
59	子どもの学習・生活支援事業	学び支援課	B	37

所管課変更事業（保育・幼稚園課から変更）

No.	対象事業	事業所管課	計画掲載ページ
13	子育て短期支援事業	子育て相談課	17

(1) No.1 教育・保育施設

- ①保育施設(3号認定0歳児)
- ②保育施設(3号認定1・2歳児)
- ⑤保育施設(2号認定3~5歳児(就学前))

◇見直し理由及び考え方(算出根拠)

推計児童数や施設定員については、厚生労働省に毎年報告を行っている「新子育て安心プラン実施計画」に基づいた数値に見直しました。新子育て安心プランは国として待機児童解消を目指し、令和3年度から令和6年度にかけて保育の受け皿を整備するものであり、市としてもより実態に即した実施計画を作成しています。

新規保育所の整備そのものも、「新子育て安心プラン実施計画」をベースに今後も進める予定ですが、当市においては、海老名駅周辺等でまちづくりが継続して進んでおり、就学前児童数や保育需要の正確な予測が難しい状況です。

このことから予測については随時見直しを行い、待機児童解消を目指しつつも、過剰供給とならないよう、調整を図っていく必要があると考えております。

なお、令和4年度の計画は既に実績が出ているため、実績値を計画値としています。

(参考) 新子育て安心プラン実施計画 (各年度4月1日時点)

(単位:人)

	年齢	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		実績	実績	見込・計画値	見込・計画値
就学前児童数 ①	0歳児	1,041	1,041	1,037	1,028
	1・2歳児	2,308	2,242	2,232	2,213
	3歳以上児	3,525	3,501	3,486	3,456
	合計	6,874	6,784	6,755	6,697
申込者数 (保育ニーズ) ②	0歳児	189	168	187	192
	1・2歳児	1,051	1,073	1,110	1,140
	3歳以上児	1,399	1,461	1,495	1,536
	合計	2,639	2,702	2,792	2,868
申込率 (②/①)	0歳児	18.2%	16.1%	18.0%	18.7%
	1・2歳児	45.5%	47.9%	49.7%	51.5%
	3歳以上児	39.7%	41.7%	42.9%	44.4%
	合計	38.4%	39.8%	41.3%	42.8%
利用定員数 (整備量)	0歳児	216	222	228	231
	1・2歳児	870	895	916	938
	3歳以上児	1,529	1,588	1,621	1,656
	合計	2,615	2,705	2,765	2,825
利用児童数	0歳児	159	154		
	1・2歳児	950	1,000		
	3歳以上児	1,395	1,449		
	合計	2,504	2,603		
待機児童数	0歳児	4	0	0	0
	1・2歳児	33	7	0	0
	3歳以上児	1	5	0	0
	合計	38	12	0	0

①保育施設（3号認定0歳児）

推計児童数（0歳児）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	1,071	1,057	1,035	1,019	1,005
実績	1,042	1,041	1,041		
見直し後			1,041	1,037	1,028

量の見込み（需要量）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	129	127	125	123	121
実績	181	189	168		
見直し後			168	187	192

施設定員（供給量）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	178	181	189	207	207
実績	201	216	222		
見直し後			222	228	231

②保育施設（3号認定1・2歳児）

推計児童数（1・2歳児）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	2,216	2,202	2,168	2,125	2,084
実績	2,300	2,308	2,242		
見直し後			2,242	2,232	2,213

量の見込み（需要量）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	1,089	1,082	1,065	1,044	1,024
実績	985	1,051	1,073		
見直し後			1,073	1,110	1,140

施設定員（供給量）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	813	841	953	1,052	1,052
実績	796	870	895		
見直し後			895	916	938

⑤保育施設（2号認定3～5歳児（就学前））

推計児童数（3～5歳児）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	3,432	3,402	3,372	3,361	3,318
実績	3,461	3,525	3,501		
見直し後			3,501	3,486	3,456

量の見込み（需要量）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	1,738	1,723	1,708	1,702	1,680
実績	1,338	1,399	1,461		
見直し後			1,461	1,495	1,536

施設定員（供給量）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	1,457	1,457	1,601	1,709	1,709
実績	1,475	1,529	1,588		
見直し後			1,588	1,621	1,656

③教育施設（1号認定3～5歳児（就学前））

令和4年度から6年度までの量の見込みについては、令和3年度の実績値と計画値から増減率を出し、各年度の見直し前の計画値にその増減率を掛け合わせて算出しています。

施設定員についても、令和3年度の実績値をベースとしていますが、令和4年度中に認定こども園1園において定員増が見込まれるため、令和5年度以降に反映させています。

推計児童数（3～5歳児）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	3,432	3,402	3,372	3,361	3,318
実績	3,461	3,525	3,501		
見直し後			3,501	3,486	3,456

量の見込み（需要量）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	1,401	1,389	1,377	1,372	1,355
実績	2,015	2,013			
見直し後			1,996	1,988	1,964

施設定員（供給量）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	2,012	2,012	1,922	1,922	1,922
実績	2,160	2,160			
見直し後			2,160	2,172	2,172

(2) No.2 時間外保育事業（延長保育）

量の見込み及び利用可能人数については、計画値と実績値に乖離があったため、令和3年度の実績値をベースに計画値の補正を行いました。令和4年度以降は、前年度に対する利用人数及び施設定員の増加量から増加率を算出し、各年度の施設定員の増加量に当てはめて計画値を算出しています。

推計児童数（未就学児）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	6,719	6,661	6,575	6,505	6,407
実績	6,803	6,874	6,784		
見直し後			6,784	6,755	6,697

量の見込み（需要量）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	321	318	314	311	306
実績	956	1,141			
見直し後			1,200	1,232	1,265

利用可能人数（供給量）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	484	491	509	552	591
実績	2,018	2,131			
見直し後			2,221	2,281	2,341

(3) No.3 病児・病後児保育事業

令和3年4月から小規模保育施設（ほほえみさくら保育園）に併設して、病児・病後児保育（ほほえみルーム）を開所したため、量の見込み及び利用可能人数について見直しを行いました。

量の見込み（需要量）

（単位：人回）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	291	289	286	283	280
実績	131	210			
見直し後			200	200	200

利用可能人数（供給量）

（単位：人回）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	735	1,000	1,500	1,500	1,500
実績	723	726			
見直し後			735	735	735

(4) No.4 一時預かり事業 ②保育所における一時預かり事業

量の見込みについて、計画値と実績値に乖離があったため、令和3年度の実績値をベースに計画値の補正を行いました。令和4年度以降は令和3年度の実績値から1園の平均利用人数を算出し、令和5年度以降の施設の増加の見込みを反映させています。なお、利用可能人数（供給量）の変更はありません。

平均利用人数は、6,938人に一時預かり事業を行っている15園で割った数値に令和4年度は16園、令和5年度は17園、令和6年度は18園をそれぞれ乗じて算出しました。

推計児童数（未就学児）

（単位：人回）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	6,719	6,661	6,575	6,505	6,407
実績	6,803	6,874	6,784		
見直し後			6,784	6,755	6,697

量の見込み（需要量）

（単位：人回）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	12,858	12,747	12,583	12,449	12,261
実績	7,119	6,938			
見直し後			7,408	7,871	8,334

(5) No 7 放課後児童健全育成事業（学童保育）

令和2年度以降、市内児童数は微減の状況ですが、学童保育の需要は年々増加しています。計画では、量の見込み（需要量）が令和4年度をピークに減少に転じていますが、この需要増加傾向は、令和5・6年度においても続くことが予想されます。また、集合住宅の建設などにより、早急に施設定員増を図ることが必要な地域も認められます。

以上を踏まえ、学童保育の登録人数や各小学校の児童数の推移等を基に、今後の学童保育利用児童数を推計したところ、現在の施設定員数を大きく超えることが見込まれることから、令和5・6年度の学童保育の量の見込み及び確保人数（定員増数）ともに見直しを行いました。令和4年度は既の実績が出ているため、実績値を計画値とします。

◇見直しの考え方（算出根拠）

①量の見込み（需要量）

前述のとおり、学童保育クラブの需要は増加傾向にあり、令和4年度の時点で計画値を上回る利用者数となっています。（下表参照）

利用率も年々増加傾向にあり、令和4年4月1日現在の利用率は27.7%でした。令和4年度時点での利用率を基に令和5・6年度の需要数を算出しています。利用率は、実績値から市内の小学校に通う全児童数（1年生から6年生まで）を割った数字で算出しています。各学年の計画は、利用率から令和5・6年度の全体の需要数を出し、さらに令和4年度の実績から学年ごとの利用割合を出した数値で算出しています。

量の見込み（需要量）（各年度4月1日時点）

（単位：人）

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績
1年生	487	439	481	431	478	474
2年生	429	386	425	406	422	435
3年生	393	334	389	338	386	373
4年生	263	240	261	273	259	301
5年生	211	174	209	174	208	229
6年生	124	109	122	127	122	126
合計	1,907	1,682	1,887	1,749	1,875	1,938

	学年ごとの割合	令和5年度		令和6年度	
		見直し前	見直し後	見直し前	見直し後
1年生	24.46%	470	557	468	565
2年生	22.45%	415	511	414	518
3年生	19.25%	379	438	378	444
4年生	15.53%	254	354	254	358
5年生	11.81%	204	269	203	273
6年生	6.50%	119	148	119	150
合計	100%	1,841	2,277	1,836	2,308

②施設定員（供給量）

令和4年4月1日現在は1,880人であり、計画値を上回っていますが、令和元年度から令和4年度までの3年間で365人増加しており、1年間で約120人増加していることとなるため、令和5・6年度の需要に対応するためには、定員を240人増員し、令和6年度までに、施設定員数を2,120人にする必要があります。各学年の計画は、量の見込みと同様に、令和4年度の実績から学年ごとの利用割合を出した数値で算出しています。

令和元年度から令和4年までの実績

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
定員実績	1,515	1,709	1,714	1,880

学年ごとの利用割合から算出した各年度の定員数

（単位：人）

	学年ごとの 利用割合	令和5年度		令和6年度	
		見直し前	見直し後	見直し前	見直し後
1年生	24.46%	437	489	450	518
2年生	22.45%	386	449	397	476
3年生	19.25%	353	385	364	408
4年生	15.53%	237	311	244	329
5年生	11.81%	190	236	195	251
6年生	6.50%	112	130	115	138
合計	100%	1,715	2,000	1,765	2,120

施設定員（供給量）（各年度4月1日時点）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	1,565	1,615	1,665	1,715	1,765
実績	1,709	1,714	1,880		
見直し後			1,880	2,000	2,120

(6) No 11 妊婦健康診査事業

妊婦健康診査の補助を 14 回分実施していますが、出産前に里帰りする方や 14 回分使い切らずに出産する方が多く、計画値と実績値に乖離がありました。

◇見直しの考え方（算出根拠）

①量の見込み（需要量）

平均すると 12 回分使用する妊婦が多数のため、妊婦人数に補助券回数 12 回を乗じて 13,000 人（1,000 人未満切り捨て）と算出しました。妊婦人数は過去 3 年間の妊娠届出者数の平均値としています。

妊婦人数 (単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	過去3年間平均値
妊娠届出者数	1,074	1,044	1,151	1,089

量の見込み（需要量） (単位：人回)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
実績	11,924	12,292			
見直し後			13,000	13,000	13,000

②利用可能人数（供給量）

妊娠届出者平均値に妊婦健診の補助券回数 14 回分を乗じて 15,000 人（1,000 人未満切り捨て）と算出しました。

利用可能人数（供給量） (単位：人回)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	17,220	17,220	17,220	17,220	17,220
実績	12,640	12,550			
見直し後			15,000	15,000	15,000

(7) No12 乳児家庭全戸訪問事業

出生数の減少に加え、新型コロナウイルス感染症のため訪問を希望しない産婦が増加しました。また、里帰り期間を延長し、里帰り先での訪問希望も減少しています。このような理由から出生数の約3%が訪問を差し控えています。

◇見直しの考え方（算出根拠）

①量の見込み（需要量）

コロナ禍による訪問の差し控えが出生数の約3%なので、過去3年間の出生数の平均値に全体から3%を差し引いた97%を乗じ、990人（10人未満切り捨て）としました。

出生数 (単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	過去3年間平均値
出生数	1,045	1,024	1,008	1,025

量の見込み（需要量） (単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	1,180	1,180	1,180	1,180	1,180
実績	895	902			
見直し後			990	990	990

②利用可能人数（供給量）

計画当初は市の人口増加率が1.025倍と見込んでいましたが、実際はコロナ禍による出産数が毎年約2%減少しているため、利用可能人数も量の見込みに合わせた数値に修正します。

利用可能人数（供給量） (単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	1,230	1,230	1,230	1,230	1,230
実績	1,030	1,020			
見直し後			990	990	990

5 (中間見直し) 計画を推進するための各種支援事業

(1) No.1 幼稚園充実事業

量の見込みと確保方策の見直しに伴い、計画値を変更しました。「令和3年度の実績」を基準に各年度の見直し前の計画値をそれぞれ乗じ、令和3年度の計画値で割り算出しています。

教育時間での保育を希望する児童数の量の見込み

(単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	1,401	1,389	1,377	1,372	1,355
実績	2,015	2,013			
見直し後			1,996	1,988	1,964

(2) No.2 保育所充実事業

量の見込みと確保方策の見直しに伴い、計画値を変更しました。保育施設の施設定員数(供給量)から申込者数(量の見込み・需要量)を差し引いた数値で算出しています。

保育所等の需給差

(単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	△508	△453	△155	99	143
実績	△32	△24			
見直し後			3	△27	△43

(3) No.3 認定こども園充実事業

量の見込みと確保方策の見直しに伴い、計画値を変更しました。保育施設の施設定員数(供給量)から申込者数(量の見込み・需要量)を差し引いた数値で算出しています。

保育所等の需給差

(単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	△508	△453	△155	99	143
実績	△32	△24			
見直し後			3	△27	△43

(4) No.4 小規模保育事業

量の見込みと確保方策の見直しに伴い、計画値を変更しました。保育施設の施設定員数（供給量）から申込者数（量の見込み・需要量）を差し引いた数値で算出しています。

保育所等の需給差

(単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	△508	△453	△155	99	143
実績	△32	△24			
見直し後			3	△27	△43

(5) No.5 家庭的保育事業

量の見込みと確保方策の見直しに伴い、計画値を変更しました。保育施設の施設定員数（供給量）から申込者数（量の見込み・需要量）を差し引いた数値で算出しています。

保育所等の需給差

(単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	△508	△453	△155	99	143
実績	△32	△24			
見直し後			3	△27	△43

(6) No.6 居宅訪問型保育事業

量の見込みと確保方策の見直しに伴い、計画値を変更しました。保育施設の施設定員数（供給量）から申込者数（量の見込み・需要量）を差し引いた数値で算出しています。

保育所等の需給差

(単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	△508	△453	△155	99	143
実績	△32	△24			
見直し後			3	△27	△43

(7) No.7 事業所内保育事業

量の見込みと確保方策の見直しに伴い、計画値を変更しました。保育施設の施設定員数（供給量）から申込者数（量の見込み・需要量）を差し引いた数値で算出しています。

保育所等の需給差

(単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	△508	△453	△155	99	143
実績	△32	△24			
見直し後			3	△27	△43

(8) No.9 病児保育

令和3年度から病児・病後児保育事業を一体化し、小規模保育施設（ほほえみさくら保育園）に併設する、病児・病後児保育室（ほほえみルーム）で実施していることから、事業概要や計画の指標等を変更しました。計画値は病児保育及び病後児保育の利用人数を合わせて200名としました。

病児・病後児保育利用人数

(単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	実施検討	実施検討	実施検討	実施検討	実施検討
実績	令和3年4月に実施予定	210			
見直し後			200	200	200

(9) No.10 病後児保育

令和3年度から病児・病後児保育事業を一体化し、小規模保育施設（ほほえみさくら保育園）に併設する、病児・病後児保育室（ほほえみルーム）で実施していることから、事業概要や計画の指標等を変更しました。計画値は変わりませんが、病児保育及び病後児保育の利用人数を合わせて200名としました。

病児・病後児保育利用人数

(単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	200	200	200	200	200
実績	131	210			
見直し後			200	200	200

※令和2年度は、病後児保育事業のみの実績値。

(10) No.11 一時預かり事業

量の見込みと確保方策の見直しに伴い、計画値を変更しました。実施保育所数が「14 か所」から「15 か所」になったことから、事業概要の表記も一部修正しました。

一時預かり利用人数

(単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
実績	7,119	6,938			
見直し後			7,408	7,871	8,334

(11) No.12 延長保育事業

量の見込みと確保方策の見直しに伴い、計画値を変更しました。

延長保育利用人数

(単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	67,034	67,704	68,381	69,064	69,754
実績	34,075	35,363			
見直し後			1,200	1,232	1,265

(12) No.14 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

量の見込みと確保方策の見直しに伴い、計画値を変更しました。

多様な事業者の能力活用の必要性

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	事業継続	事業継続	事業継続	事業継続	事業継続
実績	認可1園 小規模3園	認可1園 小規模1園			
見直し後			認可1園	認可1園	認可1園

(13) No.16 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

量の見込みと確保方策の見直しに伴い、計画値を変更しました。令和4年度は既に実績が出ているため、実績値を計画値とし、令和5・6年度は量の見込みと確保方策で算出した施設定員数（1年生から6年生まで）の合計値を計画値として変更しました。

施設定員数

（単位：名）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	1,565	1,615	1,665	1,715	1,765
実績	1,709	1,714			
見直し後			1,880	2,000	2,120

(14) No.19 妊婦健康診査

量の見込みと確保方策の見直しに伴い、計画値を変更しました。

受診件数（延べ人数）

（単位：名）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
実績	11,924	12,292			
見直し後			13,000	13,000	13,000

(15) No.23 特定不妊治療費助成事業

令和4年度から特定不妊治療が保険適用になったため、保険適用外の治療費に対し県の助成に上乗せして助成する当該事業は概ね令和4年度で終了予定です。令和5年度以降は新たな事業を検討するため、事業概要及び計画値を見直しました。

◇見直しの考え方（算出根拠）

令和4年度は従来制度の経過措置として、保険適用外の「令和3年度に終了した治療」「令和3年度から継続している治療」に対し助成を行っています。助成件数は過去3年間で約1.5倍ずつ増加していましたが、経過措置対象が減少する令和4年度下半期は、申請の大幅減が想定されるため、計画値を令和3年度の実績値の1/2（120件）で見込みました。

（参考）過去3年間の助成件数 (単位：件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実績	105	160	235

助成件数（延べ件数） (単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	100	100	100	100	100
実績	160 (件)	235 (件)			
見直し後			120 (件)	事業見直し	事業見直し

(16) No.27 育児相談

新型コロナウイルスの影響を受け、計画値と実績値に乖離が生じたことにより、令和3年度の事業実施状況報告における担当課評価がC評価でした。コロナ禍の状況も勘案し、計画値の見直しを行いました。

◇見直しの考え方（算出根拠）

新型コロナウイルス感染症等の影響を受けていた令和2年度と令和3年度実績の平均値に、「えびな未来創造プラン2020」の将来人口推計から抽出した0歳児から2歳児までの児童数見込みの前年度比率を乗じて算出しました。平均値の算出は、令和2年度実績（9か月の実施で384名）と令和3年度実績（11か月の実施で774名）の合計が20か月で1,158名だったことから、これを12か月（1年間）とした数値695名としました。

（参考）「えびな未来創造プラン2020」の将来人口推計における児童数見込みと前年度比率

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
児童数見込み (0~2歳児)	3,287名	3,259名	3,203名	3,144名	3,089名
前年度比率			98.28%	98.16%	98.25%

利用者数

(単位：名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	5,352	5,780	6,242	6,741	7,280
実績	384	774			
見直し後			683	670	658

(17) No.31 離乳食講座

新型コロナウイルスの影響を受け、計画値と実績値に乖離が生じたことにより、令和3年度の事業実施状況報告における担当課評価がC評価でした。コロナ禍の状況も勘案し、計画値の見直しを行いました。

◇見直しの考え方（算出根拠）

新型コロナウイルス感染症等の影響を受けていた令和2年度と令和3年度実績の平均値に、「えびな未来創造プラン2020」の将来人口推計から抽出した0歳児から2歳児までの児童数見込みの前年度比率（P22参照）を乗じて算出しました。平均値の算出は、令和2年度実績（28回の開催で265名）と令和3年度実績（25回の開催で226名）の合計から1回あたり9.3名となることから、これを年間予定数30回とした数値278名としました。

利用者数

（単位：名）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	550	594	641	692	747
実績	265	226			
見直し後			273	268	263

(18) No.32 むし歯予防教室

新型コロナウイルスの影響を受け、計画値と実績値に乖離が生じたことにより、令和3年度の事業実施状況報告における担当課評価がC評価でした。コロナ禍の状況も勘案し、計画値の見直しを行いました。

◇見直しの考え方（算出根拠）

新型コロナウイルス感染症等の影響を受けていた令和2年度と令和3年度実績の平均値に、「えびな未来創造プラン2020」の将来人口推計から抽出した0歳児から2歳児までの児童数見込みの前年度比率（P22参照）を乗じて算出しました。平均値の算出は、令和2年度実績（1回の開催で30名）と令和3年度実績（5回の開催で115名）の合計から1回あたり24.2名となることから、これを年間予定数6回とした数値145名としました。

利用者数

（単位：名）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	252	272	293	316	341
実績	30	115			
見直し後			143	140	138

(19) No.37 ファミリー・サポート・センター事業

新型コロナウイルスの影響を受け、計画値と実績値に乖離が生じたことにより、令和3年度の事業実施状況報告における担当課評価がC評価でした。コロナ禍の状況も勘案し、計画値の見直しを行いました。

◇見直しの考え方（算出根拠）

新型コロナウイルス感染症等の影響を受けていた令和2年度と令和3年度実績の平均値に、「えびな未来創造プラン2020」の将来人口推計から抽出した0歳児から2歳児までの児童数見込みの前年度比率（P22 参照）を乗じて算出しました。

活動件数

（単位：件）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	2,197	2,372	2,561	2,765	2,986
実績	1,541	2,007			
見直し後			1,743	1,711	1,681

(20) No.39 紙オムツ支給事業（子育て・子育て応援事業）

令和3年度に紙オムツ支給事業から子育て・子育て応援事業に事業をリニューアルしたので、事業名、事業概要及び計画値を変更しました。

◇見直しの考え方（算出根拠）

対象年齢を拡大し、出生届提出時及び乳幼児集団健診（4か月児健診・2歳児歯科健診・3歳6か月児健診）時にプレゼントを配布する事業にリニューアルしました。計画値は過去3年間の紙オムツ支給実績及び健診受診実績の平均値を算出し、その合計で算出しました。令和6年度は事業見直しとしました。

（参考）出生時対象者数 （単位：名）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	過去3年間平均値
紙オムツ支給実績	1,050	1,025	1,042	1,039 (1,000)

（参考）4か月児健診対象者数 （単位：名）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	過去3年間平均値
4か月児健診受診実績	1,052	1,037	981	1,023 (1,000)

（参考）2歳児歯科健診対象者数 （単位：名）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	過去3年間平均値
2歳児歯科健診受診実績	977	1,184	1,074	1,078 (1,000)

（参考）3歳6か月児健診対象者数 （単位：名）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	過去3年間平均値
3歳6か月児健診受診実績	1,099	1,077	1,140	1,105 (1,100)

支給対象者数 （単位：名）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	2,364	事業見直し	事業見直し	事業見直し	事業見直し
実績	2,087	2,065※ (4,276)			
見直し後			4,100	4,100	事業見直し

※は紙オムツのみ（ ）内は総支給人数

(21) No.42 子育て支援センター

新型コロナウイルスの影響を受け、計画値と実績値に乖離が生じたことにより、令和3年度の事業実施状況報告における担当課評価がC評価でした。コロナ禍の状況も勘案し、計画値の見直しを行いました。

◇見直しの考え方（算出根拠）

新型コロナウイルス感染症等の影響を受けていた令和2年度と令和3年度実績の平均値に、「えびな未来創造プラン2020」の将来人口推計から抽出した0歳児から2歳児までの児童数見込みの前年度比率（P22参照）を乗じて算出しました。平均値の算出は、令和2年度実績（9か月の実施で14,424名）と令和3年度実績（11か月の実施で17,722名）の合計が20か月で32,146名だったことから、これを12か月（1年間）とした数値19,288名としました。

利用者数

（単位：名）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	45,559	49,203	53,139	57,390	61,981
実績	14,424	17,722			
見直し後			18,956	18,607	18,281

(22) No.43 地域版子育て支援センター

新型コロナウイルスの影響を受け、計画値と実績値に乖離が生じたことにより、令和3年度の事業実施状況報告における担当課評価がC評価でした。コロナ禍の状況も勘案し、計画値の見直しを行いました。

◇見直しの考え方（算出根拠）

新型コロナウイルス感染症等の影響を受けていた令和2年度と令和3年度実績の平均値に、「えびな未来創造プラン2020」の将来人口推計から抽出した0歳児から2歳児までの児童数見込みの前年度比率（P22参照）を乗じて算出しました。平均値の算出は、令和2年度実績（9か月の実施で8,666名）と令和3年度実績（11か月の実施で9,727名）の合計が20か月で18,393名だったことから、これを12か月（1年間）とした数値11,036名としました。

利用者数

（単位：名）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	22,678	24,492	26,451	28,567	30,852
実績	8,666	9,727			
見直し後			10,846	10,646	10,460

(23) No.59 子どもの学習・生活支援事業（ライフ・スタディサポート事業）

令和3年度から所管課が生活支援課から学び支援課に変更になったことに伴い、事業名が「ライフ・スタディサポート事業」となりました。計画の指標についても「高校進学率」から「高校等進学率」に表記を修正しました。計画値の変更はありません。

支援対象者の高校等進学率

(単位：%)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見直し前	100	100	100	100	100
実績	100	83.3			
見直し後			100	100	100

「No.27 育児相談事業」や「No.31 離乳食講座」など、新型コロナウイルス感染症等の影響で通常通り事業が実施できず、担当課評価がC評価となった一部の事業については、保健師や栄養士が直接保護者へ連絡し相談を受けるなど、事業のフォローを講じています。

海老名市で安心して子育てができるよう、今後も情勢に合わせた対応を行ってまいります。

6 (中間見直し後) 量の見込みと確保方策に関わる支援事業

(1) (中間見直し後) 量の見込みと確保方策に関わる支援事業一覧

No.	対象事業		事業所管課	計画掲載ページ
教育・保育施設				
1	1号認定(実人数)	教育施設(認定こども園及び幼稚園)	保育・幼稚園課	48
	2号認定(実人数)	教育施設(幼稚園)		
		保育施設(認定こども園及び幼稚園)		
3号認定(実人数)	保育施設(認定こども園及び幼稚園)			
地域子ども・子育て支援事業				
2	時間外保育事業(延長保育)(実人数)		保育・幼稚園課	49
3	病児・病後児保育事業(延人数)			49
4	一時預かり事業(延人数)	幼稚園		49
		保育園	49	
5	子育て短期支援事業(ショートステイ)(延人数)		子育て相談課	49
6	利用者支援事業(施設数)		保育・幼稚園課	50
7	放課後児童健全育成事業(学童保育)(実人数)		学び支援課	50
8	地域子育て支援拠点事業(延人数)		子育て相談課	51
9	養育支援訪問事業(実人数)			
10	子育て援助活動支援事業(ファミサポ)(延人数)			
11	妊婦健康診査事業(延人数)		こども育成課	52
12	乳児家庭全戸訪問事業(実人数)			

(2) (中間見直し後)「量の見込みと確保方策」

【 No.1 教育・保育施設 】

① 保育施設（認定こども園及び保育所）＋地域型保育事業（3号認定－0歳児） 【単位：人】

推計児童数 (0歳児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1,071	1,057	1,041	1,037	1,028
量の見込み(需要量)	129	127	168	187	192
施設定員(供給量)	178	181	222	228	231
不足人数(乖離量)	0	0	0	0	0
確保人数(追加量)	3	3	41	6	3

② 保育施設（認定こども園及び保育所）＋地域型保育事業（3号認定－1・2歳児） 【単位：人】

推計児童数 (1～2歳児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	2,216	2,202	2,242	2,232	2,213
量の見込み(需要量)	1,089	1,082	1,073	1,110	1,140
施設定員(供給量)	813	841	895	916	938
不足人数(乖離量)	-276	-241	-178	-194	-202
確保人数(追加量)	115	28	54	21	22

③ 教育施設（認定こども園及び幼稚園）（1号認定－3～5歳児（就学前）） 【単位：人】

推計児童数 (3～5歳児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	3,432	3,402	3,501	3,486	3,456
量の見込み(需要量)	1,401	1,389	1,996	1,988	1,964
施設定員(供給量)	2,012	2,012	2,160	2,172	2,172
不足人数(乖離量)	0	0	0	0	0
確保人数(追加量)	0	0	148	12	0

④ 教育施設（幼稚園）（2号認定－3～5歳児（就学前）） 【単位：人】

推計児童数 (3～5歳児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	3,432	3,402	3,501	3,486	3,456
量の見込み(需要量)	0	0	0	0	0
施設定員(供給量)	0	0	0	0	0
不足人数(乖離量)	0	0	0	0	0
確保人数(追加量)	0	0	0	0	0

⑤ 保育施設（認定こども園及び保育所）（2号認定－3～5歳児（就学前）） 【単位：人】

推計児童数 (3～5歳児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	3,432	3,402	3,501	3,486	3,456
量の見込み(需要量)	1,738	1,723	1,461	1,495	1,536
施設定員(供給量)	1,457	1,457	1,588	1,621	1,656
不足人数(乖離量)	-281	-266	0	0	0
確保人数(追加量)	177	0	131	33	35

【 No.2 時間外保育事業（延長保育） 】

【単位：人】

推計児童数 (未就学児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	6,719	6,661	6,784	6,755	6,697
量の見込み（需要量）	321	318	1,200	1,232	1,265
利用可能人数（供給量）	484	491	2,221	2,281	2,341
不足人数（乖離量）	0	0	0	0	0
確保人数（追加量）	37	7	1,730	60	60

【 No.3 病児・病後児保育事業 】

【単位：人回】

推計児童数 (0歳～小学校3年生)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	10,268	10,202	10,118	9,973	9,842
量の見込み（需要量）	291	289	200	200	200
利用可能人数（供給量）	735	1,000	735	735	735
不足人数（乖離量）	0	0	0	0	0
確保人数（追加量）	0	265	-265	0	0

【 No.4 一時預かり事業 】

① 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

【単位：人回】

推計児童数 (3～5歳児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	3,432	3,402	3,501	3,486	3,456
量の見込み（需要量）	21,442	21,254	21,067	20,998	20,730
利用可能人数（供給量）	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
不足人数（乖離量）	0	0	0	0	0
確保人数（追加量）	0	0	0	0	0

② 保育所における一時預かり事業

【単位：人回】

推計児童数 (未就学児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	6,719	6,661	6,784	6,755	6,697
量の見込み（需要量）	12,858	12,747	7,408	7,871	8,334
利用可能人数（供給量）	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
不足人数（乖離量）	0	0	0	0	0
確保人数（追加量）	0	0	0	0	0

【 No.7 放課後児童健全育成事業（学童保育） 】

① 1年生

【単位：人】

推計児童数 (6歳児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1,199	1,172	1,162	1,125	1,140
量の見込み(需要量)	487	481	474	557	565
施設定員(供給量)	399	412	460	489	518
不足人数(乖離量)	-88	-69	-14	-68	-47
確保人数(追加量)	13	13	48	29	29

② 2年生

【単位：人】

推計児童数 (7歳児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1,160	1,204	1,176	1,165	1,128
量の見込み(需要量)	429	425	435	511	518
施設定員(供給量)	352	364	422	449	476
不足人数(乖離量)	-77	-61	-13	-62	-42
確保人数(追加量)	12	12	58	27	27

③ 3年生

【単位：人】

推計児童数 (8歳児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1,190	1,165	1,205	1,178	1,167
量の見込み(需要量)	393	389	373	438	444
施設定員(供給量)	323	333	362	385	408
不足人数(乖離量)	-70	-56	-11	-53	-36
確保人数(追加量)	10	10	29	23	23

④ 4年生

【単位：人】

推計児童数 (9歳児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1,238	1,194	1,169	1,210	1,182
量の見込み(需要量)	263	261	301	354	358
施設定員(供給量)	216	223	292	311	329
不足人数(乖離量)	-47	-38	-9	-43	-29
確保人数(追加量)	7	7	69	19	18

⑤ 5年生

【単位：人】

推計児童数 (10歳児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1,212	1,243	1,195	1,170	1,212
量の見込み(需要量)	211	209	229	269	273
施設定員(供給量)	173	178	222	236	251
不足人数(乖離量)	-38	-31	-7	-33	-22
確保人数(追加量)	5	5	44	14	15

⑥ 6年生

【単位：人】

推計児童数 (11歳児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1,248	1,217	1,243	1,198	1,172
量の見込み(需要量)	124	122	126	148	150
施設定員(供給量)	102	105	122	130	138
不足人数(乖離量)	-22	-17	-4	-18	-12
確保人数(追加量)	3	3	17	8	8

【 No.11 妊婦健康診査事業 】

【単位：人回】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み(需要量)	17,000	17,000	13,000	13,000	13,000
利用可能人数(供給量)	17,220	17,220	15,000	15,000	15,000
不足人数(乖離量)	0	0	0	0	0
確保人数(追加量)	0	0	-2,220	0	0

【 No.12 乳児家庭全戸訪問事業 】

【単位：人】

推計児童数 (0歳児)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1,071	1,057	1,035	1,019	1,005
量の見込み(需要量)	1,180	1,180	990	990	990
利用可能人数(供給量)	1,230	1,230	990	990	990
不足人数(乖離量)	0	0	0	0	0
確保人数(追加量)	0	0	-240	0	0

7 (中間見直し後) 計画を推進するための各種支援事業

(1) (中間見直し後) 計画を推進するための各種支援事業一覧

No.	支援事業	事業所管課	計画掲載ページ
基本目標Ⅰ			
安心して子どもを預けられる教育・保育施設と学童保育施設を提供できる体制づくり			
1	幼稚園充実事業	保育・幼稚園課	13
2	保育所充実事業	保育・幼稚園課	13
3	認定こども園充実事業	保育・幼稚園課	14
4	小規模保育事業	保育・幼稚園課	14
5	家庭的保育事業	保育・幼稚園課	14
6	居宅訪問型保育事業	保育・幼稚園課	14
7	事業所内保育事業	保育・幼稚園課	15
8	公立保育園のあり方	保育・幼稚園課	15
9	病児保育	保育・幼稚園課	16
10	病後児保育	保育・幼稚園課	16
11	一時預かり事業	保育・幼稚園課	16
12	延長保育事業	保育・幼稚園課	17
13	子育て短期支援事業	子育て相談課	17
14	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	保育・幼稚園課	17
15	実費徴収に係る補足給付を行う事業	保育・幼稚園課	17
16	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	学び支援課	18
17	あそびっ子クラブ	学び支援課	18
18	まなびっ子クラブ	学び支援課	18

No.	支援事業	事業所管課	計画掲載ページ
基本目標Ⅱ			
親と子の健康を確保するための環境づくり			
19	妊婦健康診査	こども育成課	21
20	妊婦歯科健康診査	こども育成課	21
21	乳児家庭全戸訪問事業	こども育成課	22
22	すこやかマタニティスクール	こども育成課	22
23	特定不妊治療費助成事業	こども育成課	22
24	不育症治療費助成事業	こども育成課	22
25	乳幼児健康診査	こども育成課	23
26	家庭訪問	こども育成課	23
27	育児相談	子育て相談課	24
28	親と子の相談支援事業	こども育成課	24
29	健康診査事後指導事業	こども育成課	24
30	乳幼児予防接種	こども育成課	24
31	離乳食講座	子育て相談課	25
32	むし歯予防教室	子育て相談課	25
33	子ども医療費助成事業	国保医療課	25
34	新入学児童運動能力測定	文化スポーツ課	25

No.	支援事業	事業所管課	計画掲載ページ
基本目標Ⅲ			
妊娠・出産から切れ目のない総合的な子育て支援を提供できる体制づくり			
35	子育て情報発信事業	こども育成課	27
36	こどもセンター連携会議	こども育成課	27
37	ファミリー・サポート・センター事業	子育て相談課	28
38	仕事と育児の両立支援事業	市民相談課	28
39	子育て・子育て支援事業	こども育成課	29
40	教材費支援事業	就学支援課	29
41	修学旅行保護者負担軽減補助金交付事業	教育支援課	29
42	子育て支援センター	子育て相談課	30
43	地域版子育て支援センター	子育て相談課	30
44	小学校スポーツ大会の実施	教育支援課	31
45	海老名市・白石市・登別市少年少女スポーツ交流事業	文化スポーツ課	31
46	保育園等の安全監視員の配置	保育・幼稚園課	32
47	安全・安心子どもパトロール	保育・幼稚園課	32
48	学校の安全監視員の配置	就学支援課	33
49	通学路安全パトロールの実施	就学支援課	33

No.	支援事業	事業所管課	計画掲載ページ
基本目標Ⅳ			
配慮を必要とする子どもと家庭への支援			
50	児童発達支援事業	障がい福祉課	35
51	保育所等訪問支援事業	障がい福祉課	35
52	医療的ケア児支援事業	障がい福祉課	35
53	放課後等デイサービス事業	障がい福祉課	36
54	就学前後の相談支援事業	教育支援課	36
55	支援教育補助指導員・介助員・看護介助員等配置事業	教育支援課	36
56	通級指導教室による児童生徒支援事業	教育支援課	36
57	ひとり親家庭等家賃助成	こども育成課	37
58	スクールライフサポート	就学支援課	37
59	ライフ・スタディサポート事業	学び支援課	37
60	教育訓練給付金	こども育成課	38
61	高等職業訓練促進給付金	こども育成課	38
62	高等学校卒業程度認定試験合格支援制度	こども育成課	38
63	母子・父子自立支援員による相談事業	こども育成課	38
64	養育支援訪問事業	子育て相談課	39
65	虐待防止の相談及び啓発活動	子育て相談課	39
66	教育支援センター（えびりーぶ）	教育支援課	40
67	不登校児童・生徒支援事業（びなるーむ）	教育支援課	40
68	通訳派遣	市民相談課	41
69	母子健康手帳の多か国語版	こども育成課	41

(2) (中間見直し後) 計画を推進するための各種支援事業

支援事業No.	1	幼稚園充実事業	保育・幼稚園課			
事業概要	幼稚園については、一定のニーズが見込まれます。市では、少しでも多くの児童が受け入れられる状況を確保できるよう取り組みます。教育時間終了後の預かり保育等の様々なニーズによる保育に対して運営費を助成し、待機児童解消のための環境整備を行います。					
計画の指標となるもの	教育時間での保育を希望する児童数の量の見込み	令和2年 1,401名	令和3年 1,389名	令和4年 1,996名	令和5年 1,988名	令和6年 1,964名
5年後の方向性	令和元年10月から実施された幼児教育・保育無償化により、幼稚園を利用することを希望する世帯はより増えることが見込まれます。しかし一方で全国的な少子化による児童数の減少があるため、今後の市民のニーズに合わせた事業運営が必要と考えています。					
支援事業No.	2	保育所充実事業	保育・幼稚園課			
事業概要	新規保育所の設立や既存保育所の定員拡大など、少しでも多くの児童が受け入れられる状況を確保できるような取り組みを行うことで、待機児童解消のための環境整備を推進します。					
計画の指標となるもの	保育所等の需給差	令和2年 △508名	令和3年 △453名	令和4年 3名	令和5年 △27名	令和6年 △43名
5年後の方向性	増加する保育ニーズに対応するため、待機児童の解消へ向けて需要の見込める地区に対して戦略的に整備を進めます。					
支援事業No.	3	認定こども園充実事業	保育・幼稚園課			
事業概要	既存幼稚園の認定こども園への移行により、保育が必要な児童を少しでも多く受け入れられる状況を確保できるような取り組みを行うことで、待機児童解消のための環境整備を推進します。					
計画の指標となるもの	保育所等の需給差	令和2年 △508名	令和3年 △453名	令和4年 3名	令和5年 △27名	令和6年 △43名
5年後の方向性	増加する保育ニーズに対応するため、待機児童の解消へ向けて需要の見込める地区に対して戦略的に整備を進めます。					
支援事業No.	4	小規模保育事業	保育・幼稚園課			
事業概要	子ども・子育て支援新制度において市の認可事業として位置づけられており、新規の小規模保育施設の設立により、少しでも多くの児童が受け入れられる状況を確保できるような取り組みを行うことで、待機児童解消のための環境整備を推進します。					
計画の指標となるもの	保育所等の需給差	令和2年 △508名	令和3年 △453名	令和4年 3名	令和5年 △27名	令和6年 △43名
5年後の方向性	増加する保育ニーズに対応するため、待機児童の解消へ向けて需要の見込める地区に対して戦略的に整備を進めます。					

支援事業No.	5	家庭的保育事業	保育・幼稚園課			
事業概要	子ども・子育て支援新制度において市の認可事業として位置づけられており、保育者の居宅等で、5名以下の3歳未満の子どもを家庭的な雰囲気の中で保育するものです。					
計画の指標となるもの	保育所等の需給差	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		△508名	△453名	3名	△27名	△43名
5年後の方向性	多様化する保育ニーズに対応するため、待機児童の解消へ向けて需要の見込める地区に対して戦略的に整備を進めます。					
支援事業No.	6	居宅訪問型保育事業	保育・幼稚園課			
事業概要	子ども・子育て支援新制度において市の認可事業として位置づけられており、3歳未満の乳幼児の居宅において1対1を基本とする保育を実施します。保育所等では対応しきれないニーズなど、個々に応じた柔軟な利用が可能となります。					
計画の指標となるもの	保育所等の需給差	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		△508名	△453名	3名	△27名	△43名
5年後の方向性	多様化する保育ニーズに対応するため、待機児童の解消へ向けて需要の見込める地区に対して戦略的に整備を進めます。					
支援事業No.	7	事業所内保育事業	保育・幼稚園課			
事業概要	子ども・子育て支援新制度において市の認可事業として位置づけられており、企業が仕事と子育ての両立を支援するため、従業員の子どもの預かり、保育を実施します。また、地域の3歳未満の子どもの受け入れが可能な施設となります。					
計画の指標となるもの	保育所等の需給差	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		△508名	△453名	3名	△27名	△43名
5年後の方向性	多様化する保育ニーズに対応するため、待機児童の解消へ向けて需要の見込める地区に対して戦略的に整備を進めます。					
支援事業No.	9	病児保育	保育・幼稚園課			
事業概要	小規模保育施設（ほほえみさくら保育園）に併設する、病児・病後児保育室（ほほえみルーム）で病気中の生後6ヶ月から小学6年生までの児童を一時的に預かります。 保護者が就労しているなど、家庭での保育が困難である方が利用の対象となる事業です。					
計画の指標となるもの	病児・病後児保育利用人数	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		実施検討	実施検討	200名	200名	200名
5年後の方向性	保護者の子育てと就労等の両立を支援するため、継続して事業を実施します。					

支援事業No.	10	病後児保育	保育・幼稚園課			
事業概要	小規模保育施設（ほほえみさくら保育園）に併設する、病児・病後児保育室（ほほえみルーム）で病気中の生後6ヶ月から小学6年生までの児童を一時的に預かります。保護者が就労しているなど、家庭での保育が困難である方が利用の対象となる事業です。					
計画の指標となるもの	病児・病後児保育利用人数	令和2年 200名	令和3年 200名	令和4年 200名	令和5年 200名	令和6年 200名
5年後の方向性	保護者の子育てと就労等の両立を支援するため、継続して事業を実施します。					
支援事業No.	11	一時預かり事業	保育・幼稚園課			
事業概要	現在、海老名市内の公立・私立合わせ15の保育所において、一時預かり事業を実施しています。自宅保育者以外にも保育所待機者の代替施設としてのニーズもあることから、市では各保育所での一時預かり事業を支援します。					
計画の指標となるもの	一時預かり利用人数	令和2年 15,000名	令和3年 15,000名	令和4年 7,408名	令和5年 7,871名	令和6年 8,334名
5年後の方向性	全国的な少子化による児童数の減少の一方で当市では保育所のニーズは増加しています。ついでには、市では引き続き各保育所での一時預かり事業を支援します。					
支援事業No.	12	延長保育事業	保育・幼稚園課			
事業概要	現在、海老名市内の公立・私立合わせ27の保育所及び認定子ども園において、延長保育事業を実施しています。今後も保護者のニーズ等から、一定の利用希望者が見込まれるため、市は各保育所での延長保育事業を支援します。					
計画の指標となるもの	延長保育利用人数	令和2年 67,034名	令和3年 67,704名	令和4年 1,200名	令和5年 1,232名	令和6年 1,265名
5年後の方向性	全国的な少子化による児童数の減少の一方で当市では保育所のニーズは増加しています。市は引き続き各保育所での延長保育事業を支援します。					
支援事業No.	14	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	保育・幼稚園課			
事業概要	各施設の設置基準や職員配置基準など、新規事業者には様々な対応が求められることから、新規参入希望事業者からの相談等に対応し、情報の提供を行います。					
計画の指標となるもの	多様な事業者の能力活用の必要性	令和2年 事業継続	令和3年 事業継続	令和4年 認可1園	令和5年 認可1園	令和6年 認可1園
5年後の方向性	増加する保育ニーズに対応するため、待機児童の解消へ向けて保育所の誘致を進め、基準を満たした民間事業者には保育所設置認可を行います。					

支援事業No.	16	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	学び支援課			
事業概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校等に通う子どもたちに、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業です。					
計画の指標となるもの	施設定員数	令和2年 1,565名	令和3年 1,615名	令和4年 1,880名	令和5年 2,000名	令和6年 2,120名
5年後の方向性	学童保育クラブの需要は、大規模開発によって今後不足が生じる地域と、少子化の影響により余剰が生じる地域があり、偏在化していく状況です。このことから、学童保育クラブを必要とする地域に適切に供給できるよう配置していきます。					
支援事業No.	19	妊婦健康診査	こども育成課			
事業概要	安心して出産ができるよう、妊婦の健康管理とともに、新生児の疾病や異常の早期発見の機会となるよう、妊婦健康診査を実施しています。神奈川県産婦人科医会に委託し、県内の産科等医療機関を妊婦が健診を受けた際の費用の一部を補助します。					
計画の指標となるもの	受診件数（延べ人数）	令和2年 12,000名	令和3年 12,000名	令和4年 13,000名	令和5年 13,000名	令和6年 13,000名
5年後の方向性	妊婦健康診査は各種検査等にかかる費用が大きいため、1回あたりの助成額の見直しを図ります。					
支援事業No.	23	特定不妊治療費助成事業	こども育成課			
事業概要	不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されず高額の医療費がかかる特定不妊治療に要する費用の一部を助成します。令和4年度から不妊治療が保険適用となったため、令和5年度以降は、事業の見直しを図ります。					
計画の指標となるもの	助成件数（延べ人数）	令和2年 100名	令和3年 100名	令和4年 120件	令和5年 事業見直し	令和6年 事業見直し
5年後の方向性	現行の特定不妊治療に要する費用の一部を助成しながらも新たな助成について検討し、事業見直しを図ります。					
支援事業No.	27	育児相談	子育て相談課			
事業概要	同年齢の子どもを持つ親同士が共通の話題や情報交換などができる交流の場である年齢別サロンにおいて、遊びながら気軽に子どもの心身の発達や育児に関する保護者の悩みなどの疑問を保健師や栄養士と相談できる場を提供します。					
計画の指標となるもの	利用者数	令和2年 5,352名	令和3年 5,780名	令和4年 683名	令和5年 670名	令和6年 658名
5年後の方向性	年齢に応じた遊びや絵本の読み聞かせなど、魅力あふれる基本事業で、多くの利用者呼び込み、一人でも多くの親子が、孤独感や育児不安を解消していただけるよう努めます。					

支援事業No.	31	離乳食講座	子育て相談課			
事業概要	赤ちゃんの発育や発達に合わせ、離乳食を始めるタイミング、作り方や量、味付けなど、試食を交えて具体的な進め方を学ぶ講座と、講師を囲んだグループワークの二本立てで開催しています。グループワークでは親同士の情報交換や、講師への質問や悩みの共有をすることで、離乳食に関する不安や苦労を軽減する場にもなっています。					
計画の指標となるもの	利用者数	令和2年 550名	令和3年 594名	令和4年 273名	令和5年 268名	令和6年 263名
5年後の方向性	育児相談事業とあわせて、離乳食の悩みや疑問を気軽に相談できる場を提供してまいります。また、グループワークなどの質疑応答を集約して、講座に参加されない方にも広く情報を提供していく方法を検討します。					
支援事業No.	32	むし歯予防教室	子育て相談課			
事業概要	乳幼児期は基本的な歯の健康づくりを身に着ける重要な時期ととらえ、生涯にわたって歯の健康が身につくよう、歯磨き指導を通して、幼児のむし歯予防や望ましい食事、おやつとの与え方について学びます。					
計画の指標となるもの	利用者数	令和2年 252名	令和3年 272名	令和4年 143名	令和5年 140名	令和6年 138名
5年後の方向性	乳幼児期の歯の疑問や悩みにより丁寧かつ効率的に情報提供できる機会として、むし歯予防講座の在り方を検討します。					
支援事業No.	37	ファミリー・サポート・センター事業	子育て相談課			
事業概要	子育て支援を受けたい人（利用会員）と援助ができる人（援助会員）が会員となって、互いに協力し合って、地域の中で子育てを支援する有償ボランティアです。					
計画の指標となるもの	活動件数	令和2年 2,197件	令和3年 2,372件	令和4年 1,743件	令和5年 1,711件	令和6年 1,681件
5年後の方向性	援助会員を増やし、利用会員の多様化するニーズに応えられるよう、地域の中での助け合いという観点で、両者の関係を維持できるようにコーディネートしていきます。					
支援事業No.	39	子育て・子育て支援事業	こども育成課			
事業概要	令和3年度に紙オムツ支給事業から子育て・子育て支援事業として事業のリニューアルを行いました。住んでいただいていることへの感謝と成長している喜びを伝えるため、出生児と各乳幼児集団健診受診対象者へ紙オムツや衛生用品などのお祝い品を贈呈します。					
計画の指標となるもの	支給対象者数	令和2年 2,364名	令和3年 事業見直し	令和4年 4,100名	令和5年 4,100名	令和6年 事業見直し
5年後の方向性	リニューアル後の事業を継続しながらより良い事業内容の検討・研究を行い、より充実した子育てサポートを実現します。					

支援事業No.	42	子育て支援センター				子育て相談課
事業概要	年齢別サロン、すくすく広場、移動サロン、育児講座や、各種イベントを通して、子育て親子の交流の促進、子育てに関する相談、子育て支援に関する情報の提供、講習等を実施します。					
計画の指標 となるもの	利用者数	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		45,559名	49,203名	18,956名	18,607名	18,281名
5年後の 方向性	子ども家庭相談室やこども育成課など関係各課等と連携し、より専門的な相談に的確に対応できる体制を整備するとともに、一人でも多くの親子が、足を運びたいと思える魅力ある事業の充実を図ります。					
支援事業No.	43	地域版子育て支援センター				子育て相談課
事業概要	より身近で地域に根差した地域版子育て支援センター「はぐはぐ広場」を、市内3か所で運営しています。運営は、民間のアイデアやノウハウを生かすため、子育て関係の民間事業者 に委託をして行います。					
計画の指標 となるもの	利用者数	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		22,678名	24,492名	10,846名	10,646名	10,460名
5年後の 方向性	子育て支援センターとはぐはぐ広場相互に情報交換や連携を密にし、地域の子育て支援の拠点としての機能の充実を図ります。また、専門的な相談に対しては、他機関とも連携して対応できる体制を整備してまいります。					
支援事業No.	59	ライフ・スタディサポート事業				学び支援課
事業概要	生活保護世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯等の中学生を対象とした学習支援をはじめ、日常的な生活習慣、活動ができる居場所づくりなどの生活支援を子どもと保護者の双方に支援を行うことで、高校等への進学を促し将来の貧困連鎖からの脱却を目指します。					
計画の指標 となるもの	支援対象者の高校等進学率	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		100%	100%	100%	100%	100%
5年後の 方向性	令和元年5月に策定した事業計画に基づき、事業の実績と効果を検証しながら、実施場所や対象者の拡大などを検討していきます。					

**第2期海老名市子ども・子育て支援事業計画
中間見直し**

令和5年1月

発行：神奈川県海老名市
編集：海老名市保健福祉部こども育成課
〒243-0422 神奈川県海老名市中新田377番地
TEL 046-235-7878
FAX 046-235-7980
<https://www.city.ebina.kanagawa.jp/>
